



2025年3月13日

TSUBASAアライアンスによる非化石証書の共同購入 ～地域で生まれた環境価値を地産地消～

千葉銀行（頭取 米本 努）は、2025年3月13日（木）、「TSUBASAアライアンス^{※1}」で連携する全行と共に、各行の営業エリアで創出されたFIT非化石証書^{※2}を合計500万kWh購入しました。購入した非化石証書は、各行の電力使用によるCO₂排出のオフセット（相殺）に利用し、合計で約2,100トン（ATM約5,000台分の年間CO₂排出量）のCO₂削減に貢献します。

本件は、各行の営業エリアで創出された「環境価値」の地産地消のほか、再エネ価値取引市場の活性化およびFIT非化石証書の普及促進を目的に、「TSUBASAアライアンス」参加行の連携施策として実施しました。なお、本件実施にあたり、当行の電力事業子会社であるひまわりグリーンエナジー株式会社を活用し共同購入することにより、購入にかかる費用の削減を図っています。

今後も当行および「TSUBASAアライアンス」参加行は、地域の脱炭素化（カーボンニュートラル）をはじめとした環境・社会問題の解決に取り組み、持続可能な地域社会の実現に貢献していきます。

※1 千葉銀行、第四北越銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行、群馬銀行の10行が参加する地銀広域連携の枠組み。（URL：<https://tsubasa-al.co.jp>）

※2 FIT制度（再生可能エネルギーの固定価格買取制度）が適用される非化石電源（太陽光・風力・バイオマスといった再生可能エネルギー等の発電時にCO₂を発生しない電源）で発電された電力の「環境価値」部分を証書化したもので、電力使用によるCO₂排出量の削減に利用できる。

